



# 今村 浩星さん (34歳) (営農地 / 久留米市城島町)

## ビジネス感覚による酪農経営

《就農のきっかけ》

### 他産業での経験を活かして

地元の普通高校を卒業後、カナダの情報処理関係の大学に進学し、神戸にある牧草輸入会社で3年間働いてUターンで就農した今村さん。「継いだのは、成り行きで。」とさりげなく語りつつも、わが社の強みは「輸入会社時代に培った経験により、コストダウンを実現できていることではないか」という彼の言葉は自信にみちがっています。

「(有)今村ふれあい牧場」は、浩星さんで3代目。31歳で社長に就任後も「自分に厳しく」をモットーに豊富な知識と情報力をもって経営に取り組んでいます。

《これまでの過程》

### 努力は実を結ぶ

子供の頃から酪農の手伝いは行っていたものの、農業や酪農に関する基礎知識が全くなかったため、様々なセミナーや視察に参加したり、専門誌を読み漁るなど、人一倍の努力をしたという今村さん。結婚を機に社長として就任しましたが、いみじくも飼料高騰の厳しい時期と重なり、資金繰りにはかなり苦勞をしたそうです。しかし、根っからの「新しいもの好き」と探究心で苦難を切り抜け、経営を引き継いだ当時より経産牛で30頭増頭し、現在は、右肩上がりの経営を実現しています。そのことを裏付ける技術として、通常は1日2回の搾乳ですが、今村牧場では3回の搾乳を行い、収益性向上を図っています。また、何より大切なのは「毎日きちんと牛を観ること。」と語る今村さん。飼料設計がうまいき、乳量が増加した時が一番嬉しいそうです。

妻も子牛の哺乳担当としてやりがいをもって頑張っています。さらに、今村ふれあい牧場の自慢は、地域の人や関係者も含め人が多く集まる場所だということです。人が集まるということは情報が多く集まり、経営に反映されているのでしょう。



#### プロフィール

■家族構成 / 妻、子ども1人 ■前職 / 会社員 ■営農年数 / 約9年  
■従業員数 / 7名 ■耕作(経営)面積 / 経産牛210頭、育成牛100頭  
■販路 / 県酪農業協同組合

《これからの展望》

### 適正な規模で確実な経営を

今村さんが会社経営の中で大切にしているのは「従業員に気持ち良く仕事をしてもらうこと。」です。特に、20代前半の若い従業員には30歳で他産業以上の給料が出せるようにしたいと語ります。

これからは、規模拡大というよりも、安心な牛乳を消費者に届けるために、品質の良いものを毎日出荷することに力を注いでいきたい。と今村さん。そして、現在の経営継承のありかたも見据えた上で、「10年後には現在とは違った場所で酪農をやっているかもしれません。」と夢を語ります。



### Good 成功のためのポイント

農業経営では「自らのマネジメント能力を高めること」、「情報収集をまめに行い管理すること」などを心がけています。また、協同販売の強みを生かす組織体制も必要ではないでしょうか。